

各地区人口と（センターだより配付）世帯数〔令和8年8月末〕

	草 間	土 橋	足 見	合 計	(対前月)
人 口	547 (-1)	205 (-1)	195	947	-2
世帯数	217	79	65	361	±0



草間公民館主催

第1回スマホ教室

7月30日（木）、スマホ教室を開催しました。NTTドコモ新見店に依頼し、参加者9名がスマホの基本操作・利用について学習しました。

特に「カメラを使おう」では、写真撮影でQRコードを読み込んで簡単にインターネットのサイトを利用できる操作を体得いただきました。また、「インターネットを使おう」では、知りたい情報を探す方法・便利な利用法を身につけていただくとともに、安心・安全にインターネットを楽しむための留意事項について確認いただきました。参加者には、普段から気になることなどを熱心に質問しながら、楽しくスマホ操作をワンランクアップする学びをしていただきました。



～9月の行事予定～

- 9（水）草間台GG 愛好会大会（土橋）予備日 9/15(火)
- 10（木）ほがらか会〔草木染め〕
- 13（日）足見地区敬老会
- 18（金）草間いきいき健康アップ教室④
- 20（日）〔秋の特産品フェア 2026〕
- 第31回くさま台ニューピオーネ祭
- 21（月）敬老の日
- 22（火）国民の休日
- 23（水）秋分の日



～10月の行事予定～

- 2（金）新見南中学校煌南祭〔文化の部〕
- 8（木）ほがらか会
- 11（日）草間岩山神社秋季大祭
足見八幡神社秋季大祭
- 12（月）スポーツの日
- 13（火）草間公民館人権学習講演会（草間台PTA 人権教育講演会）
14:30-15:30
- 16（金）南部3公民館交流GG大会（豊永山村広場）
予備日 10/23(金)
- 16（金）草間いきいき健康アップ教室⑤
- 17（土）新見南中学校煌南祭〔体育の部〕
- 18（日）草間地区敬老会
- 18（日）土橋地区民運動会
- 20（火）花植交流会（放課後子ども教室）14:30-15:30
- 25（日）土橋地区地域外視察研修（土橋みらいの会）
- 25（日）草間公民館4地区分団対抗ソフトボール大会
（足見南部グランド）9:00-12:00
- 29（木）草間台文化講演会(狂言) ふれあい広場



草間市民センターだより

発行
お問い合わせ先

草間市民センター
草間公民館
Tel 74-9001
Fax 74-9000



カラー版をホームページ「草間台エコミュージアム」(kusamada.com)に掲載しておりますので、閲覧ください。スマホ等の上のQRコードでアクセスしてください。

草間公民館主催

昼食をつくろう交流会（放課後こども教室）

8月19日（水）、草間台小学校の児童14名が、栄養改善協議会草間支部（渡邊孝子支部長）のご指導をいただき、県北の郷土料理として昔から家庭で作られているけんぴき焼きづくりに挑戦しました。さらに昼食として自分が食べるおむすびを握る作業もしました。また、昼食に栄養委員さんから、バランスのとれた食事のおかずを何品も提供いただき、児童は、彩りよくトレイに配膳して楽しく会話しながらおいしくいただきました。

児童には、家庭でも、けんぴき焼きに挑戦したり、日常的に食事作りのお手伝いをしたりしてほしいと思います。



『夏の星空教室』兼放課後こども教室

8月11日（火）、草間公民館主催「夏の星空観察会」を開催しました。学校・家庭ともに、夜空に輝く星・星座をじっくり観察する機会がなくなっているなかで、6組の親子・家族・兄弟の参加がありました。井原市から美星天文台中内弘技師を講師として派遣していただき、天体望遠鏡・双眼鏡で代表的な星を観察しながら専門的な説明をしていただきました。

まず、惑星の金星を天体望遠鏡で見ると実際には半月・三日月型に輝いていることを観察を通して知ることができました。そして、夏の代表的な星座「さそり座」、夏の三角形、牽牛星・織り姫星を観察し、光害の少ない澄んだ夜空の天の川の美しさも堪能できました。さらに、北極星[真北を知る星]を見つけるためのおおぐま座（北斗七星）・カシオペア座を観察、方角や季節を知る術となる星空観察の役割も知ることができました。この観察会を通して、児童は星空観察の魅力を感じ、天文学・宇宙への興味関心を高めてもらえたと思います。



草間公民館主催

わくわく科学教室

8月25日（火）、草間台小学校の児童22名の参加がありました。児童は、藤本忠男講師から「巨大シャボン玉づくり」「ダンビール空気砲」「特製スライムづくり」等について教わり、楽しい体験ができました。

そして、鳥取県から伊田典穂・上屋敷明美様に講師としてお越しいただき、「カイコ繭から生糸を紡ぐ」という貴重な体験をさせていただきました。カイコの幼虫が細い糸を吐いてつくった繭を湯せんすると、絡まった糸がほどけやすくなり、それを15～20本より合わせていくと強く美しい生糸〔シルク〕ができるのを参加児童全員でより合わせながら糸車に巻いていくという作業ができました。かつて日本で盛んであった養蚕・製糸業のモノづくりの一部を体験的に知ることができました。

